

横浜平沼高校かるた部 全国準優勝



五月の県大会で準優勝して出場した、7月の近江大会（小倉百人一首競技かるた第45回全国高等学校選手権大会）にて、準優勝という結果を得ることができました。

二年連続、七回目の出場となった今回、メンバーのうち、主将をはじめ、半分以上が高校から始めた生徒達でした。そして、主将・三将・六将は、昨年の近江を経験し、二回戦敗退に涙した選手たちです。

全試合の結果は以下の通り。

大阪・天王寺高校に三勝二敗

京都・西京高校に四勝一敗

鹿児島・鶴丸高校に三勝二敗

千葉・流通経済大学付属柏高校
に三勝二敗

埼玉・浦和明の星女子高校に三勝二敗

東京・関東第一高校に二勝三敗

※準決勝・決勝の様子は、全日本かるた協会 YouTube にて観ることができます。

※試合結果の詳細は、全日本かるた協会ホームページの大会速報に掲載されています。

※YouTube や SNS で多くの方に応援して頂きました。とくに漫画「ちはやふる」の作者・末次由紀さんが Twitter にて横浜平沼高校の奮戦を労って下さり、生徒も大喜びでした。ありがとうございました。

予選リーグ 第一試合 天王寺高校

ほどよい緊張感で、よく動けていたように思います。全ての試合が数枚差の接戦となりました。中盤から圧されて三将が一敗となりましたが、六将・五将・主将が接戦を制して勝ちをあげました。六将は副将を相手にしての大金星です。副将は運命戦となり、敵陣が詠まれての惜敗でした。



第二試合 西京高校

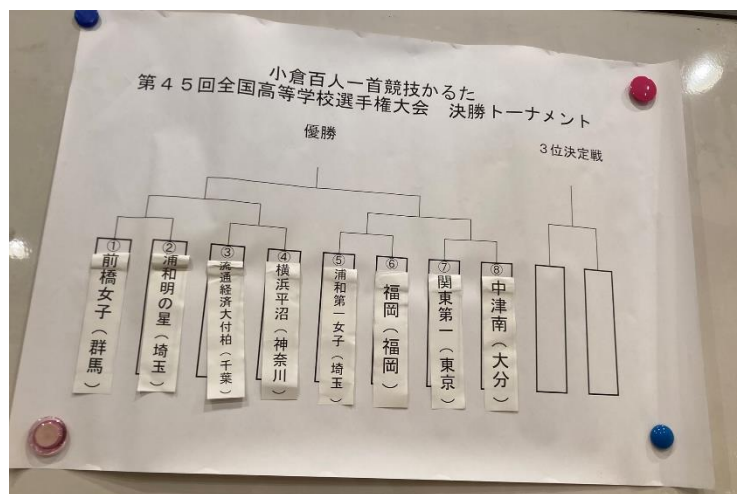
第一試合を勝ち抜いて、非常によい状態で挑めていたようです。主将・三将が終始優勢で束勝ちで勝利し、副将も副将同士の試合を制しました。五将は主将を相手に追上げて勝利、六将は三枚差で惜敗しましたが、全体的に安心して見ていられる様子でした。



第三試合 鶴丸高校

同じく臙脂のユニフォームの高校です。ベスト8常連、古豪が相手ですが、勝てばベスト8の試合でした。ここで、三将を相手に六将が、六将を相手に三将が続いて勝ちを挙げました。一方、主将・副将は七枚差で同時に敗れ、二勝二敗で終盤を向かえました。残る五将の相手は、相手の主将で、格上の選手でしたが、終盤まで粘り強く戦い、最後は四枚差で勝ちを挙げました。主将・副将が敗れても、他の三試合をきっちり取れるというのが、このチームの強みです。

ここにおいて、ベスト8となり、神奈川県、そして横浜平沼高校の過去最高戦績に並びました。場所を近江勸学館の朝日の間に移して抽選が行われ、観客が轟めく中、決勝トーナメントを迎えました。



決勝リーグ 第四試合 流通経済大学付属柏高校

四戦の疲れが見えてきた試合でした。三将が勝ち、副将・六将が敗れて終盤を迎え、五将が勝ち、二勝二敗となります。最後の一試合は主将同士の試合です。主将の自陣には「ちはやふる」の札がありました。最後の札送りの場面で、この札に一度触れ送るか悩んだ主将が、結果別の札を送ったところ、そこで「ちはやふる」の札が読まれました。自陣を抑えて主将が勝利を決めました。

準決勝戦 浦和明の星女子高校

場所は二階「浦安の間」。四戦を続けた五人のうち、副将・五将に代わって四将、七将が出場しました。二人ともこれ近江初戦となりましたが、いい取りを続けます。特に四将は優勢に試合をすすめました。三将・六将が圧され、厳しい状況で粘るなか、四将の力強い「平沼一勝」が宣言されました。



三将・六将が敗れ、見守る中、残りの二組が競り合います。まずは、主将がきっちりと「平沼二勝」を宣言しました。

七将は安定感のある選手で、落ち着いて自分の試合ができていたように見えてましたが、試合は纏れ込み、二勝二敗の最後の一勝をかけた運命戦を迎えました。左右で他の選手が、後ろではコーチや部員が祈りながら迎えた読みは、七将の自陣でした。これをきっちり抑えて、三勝二敗、決勝戦進出となりました。



決勝戦 関東第一高校

決勝戦の相手は四人が A 級でしたが、何度か練習会でも交流があったチームで、どこかなごやかな雰囲気です。試合開始を迎えました。

選手同士、「近江大会の決勝戦で会いましょう」と話していたとか。



中央で主将同士が戦う席次となりました。五将、主将、六将は格上の選手を相手にそれぞれに奮戦します。結果は敗れて、平沼三敗となりましたが、三人とも、最後の数枚となっても最後まで調子を崩さず、決勝戦として見劣りの無い試合をしました。



残る副将・三将は、心折れずに最後まで自分の試合を全うしました。副将は一試合休んだこともあってか、会場も広くなったこともあってか、いつもの躍動的な取りをしていましたし、三将も、終盤取られてもどこか笑みのある様子で、楽しく取れていたようです。二人とも残り一枚となって読まれた「住の江の」をきっちり取り、同時に勝ちを挙げました。

結果は二勝三敗で敗れましたが、神奈川初の全国準優勝となりました。

保護者の皆様、コーチの山内さん、卒業生の皆さんなど、様々な方面からの応援を頂きまして、あこがれの近江大会での準優勝となりました。心より感謝申し上げます。

平沼かるた部の実力は勿論、試合の丁寧さや、ちゃんとしているところ、話し合い、切磋琢磨し、話し合いを重ね、励まし支え合う様子は、先輩たちが作り、引き継いできた、そのたまものだと思います。先輩の皆さんも、是非後輩の成果を誇って頂きたいと思います。

閉会式



結果

小倉百人一首競技かるた 第45回全国高等学校選手権大会

団体戦 準優勝

大阪・天王寺高校 に 三勝二敗

京都・西京高校 に 四勝一敗

鹿児島・鶴丸高校 に 三勝二敗

千葉・流通経済大学附属柏高校 に 三勝二敗

埼玉・浦和明の星女子高校 に 三勝二敗

東京・関東第一高校 に 二勝三敗

個人戦 入賞

B級 1名、C級 2名、D級 2名がそれぞれ 4位入賞